

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年8月18日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設**に対する攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

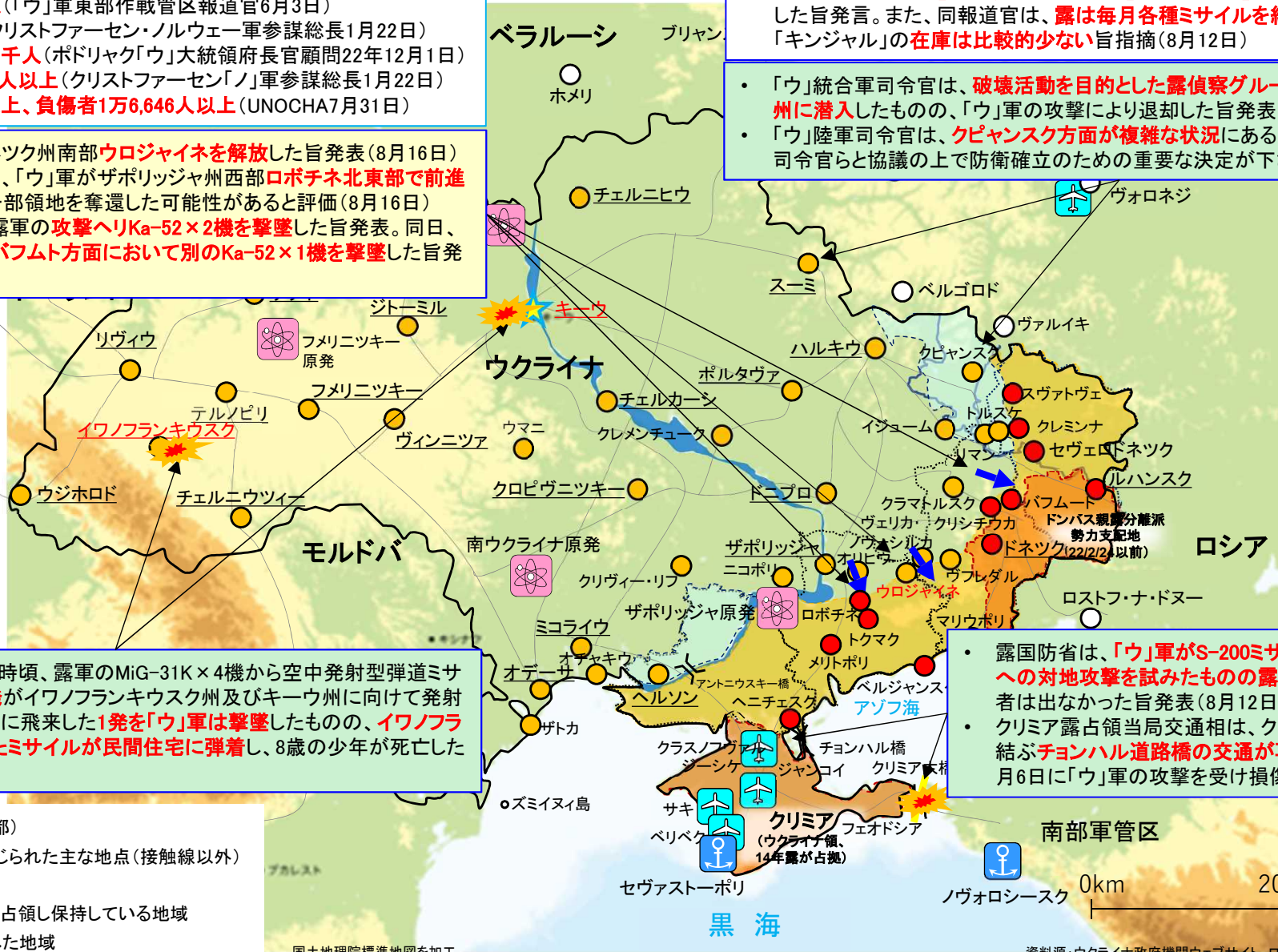
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者9,369人以上、負傷者1万6,646人以上 (UNOCHA7月31日)

- 「ウ」国防次官は、ドネツク州南部 **ウロジャイネ**を解放した旨発表 (8月16日)
- 米戦争研究所(ISW)は、「ウ」軍がザポリヅジャ州西部 **ロボチネ**北東部で前進し、森林地帯周辺で一部領地を奪還した可能性があると評価 (8月16日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露軍の攻撃ヘリKa-52×2機を撃墜した旨発表。同日、「ウ」空軍司令官は、**パフムト**方面において別のKa-52×1機を撃墜した旨発表 (8月17日)

- 「ウ」空軍報道官は、露による侵略開始以降、「ウ」空軍が露軍の空中発射型弾道ミサイル「**キンジャル**」13発、「**イスカンドール**」及び「**S-400**」ミサイル×20発以上を撃墜した旨発言。また、同報道官は、露は毎月各種ミサイルを約100発生産しているが、「**キンジャル**」の**在庫は比較的少ない**旨指摘 (8月12日)

- 「ウ」統合軍司令官は、**破壊活動を目的とした露偵察グループが、「ウ」北東部スーミ州に潜入**したものの、「ウ」軍の攻撃により退却した旨発表 (8月12日)
- 「ウ」陸軍司令官は、**クピャンスク**方面が**複雑な状況**にあるとし、同方面を担当する司令官らと協議の上で防衛確立のための重要な決定が下された旨発言 (8月16日)



- 「ウ」空軍は、11日朝10時頃、露軍のMiG-31K×4機から空中発射型弾道ミサイル「**キンジャル**」×4発が**イノフランクィウスク州**及び**キーウ州**に向けて発射され、そのうちキーウ州に飛来した1発を「ウ」軍は撃墜したものの、**イノフランクィウスク州**に飛来したミサイルが民間住宅に弾着し、8歳の少年が死亡した旨発表 (8月11日)

- 露国防省は、「ウ」軍が**S-200**ミサイルを用いて**クリミア大橋**への**対地攻撃を試みたものの露軍が撃墜**、被害及び犠牲者は出なかった旨発表 (8月12日)
- クリミア露占領当局交通相は、**クリミア半島とヘルソン州**を結ぶ**チョンハル道路橋**の**交通が再開**した旨発表 (同橋は8月6日に「ウ」軍の攻撃を受け損傷) (8月16日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等